

事業所名

多機能型児童発達支援ルーム あすたむ

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

| | | | | | | | | | | |
|-----------|--|---|-----|----|---------|-----|---|---------|----|----|
| 法人（事業所）理念 | 法人理念：つやつや・生き活き・楽しく・楽に 事業所理念：個別性を重視し、「できるかも」「やってみたい」の気持ちの芽生えをサポートする。自己効力感、自己肯定感を育み、一人一人のエンパワーメントを目指す。 | | | | | | | | | |
| 支援方針 | 個別性を重視するため、最大4名までの小集団で活動を行っています。活動時間は1セッション1時間としてしています。「感覚統合療法」の理論を中心としたサーキット活動や、職員と1対1で行う机上での個別活動に重きをおいております。保護者同伴で1時間の活動を行っているため、職員に関わり方を見ていただいたり、その時々々の困り事に即対応するなど、こどもと家族の生活が少しでも楽になるよう、自信を持って生きていけるよう、伴走者として事業にあたっております。 | | | | | | | | | |
| 営業時間 | (月)~(土) (祝日含む) | 8時 | 30分 | から | 17時 | 30分 | まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| サービス提供時間 | (月)~(土) (祝日含む) | 10時 | 0分 | から | 17時 | 0分 | まで | | | |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 生活リズムの聴取や睡眠に関するアドバイス、トイレトレーニングのアドバイス、言語聴覚士による摂食アドバイス、食事動作の練習、更衣動作の練習、片付けなどの生活スキル練習、自宅や保育所等での生活様式の観察 | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | サーキットによる運動活動、評価チャートを使った感覚評価、感覚の偏りに対するアプローチ及び環境調整、音楽を使ったリズム活動、作業療法士・理学療法士による運動感覚評価 | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 製作活動、完全個別での机上課題、空間認知力を高めるための立体的な運動活動、自己コントロール力を高めるための小集団での活動 | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 同年代での小集団活動、職員との密な関係を築くための加配配置、視覚的支援、言語聴覚士による言語評価や言語練習 | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 遊びを通じた社会性の発達（小集団での順番のある活動やゲーム等）、他者への意識を高めるための環境設定、集団への参加のサポート、他者に対する信頼感の向上 | | | | | | | | |
| 家族支援 | こどもの成長の確認・共感、困りごとの共有、実場面を通じての関わり方の提示、兄弟児の相談、夫婦間や親戚間での意見の相違に対するサポート、家庭訪問の実施、保育所等の懇談への参加 | | | | 移行支援 | | ライフステージの切り替えを見据えたアドバイス、切り替え時の丁寧な申し送り、移行先の環境調整、移行先の支援体制の構築 | | | |
| 地域支援・地域連携 | 地域の関係者・関係機関との連携（医療機関、児童相談所、行政機関、保育所・学校等）、インフォーマルサービスの発掘、保育園・学校等に向けた研修会等の実施 | | | | 職員の質の向上 | | 社内研修会・事例検討会、他事業所との交流による学び、外部研修への参加 | | | |
| 主な行事等 | 事業所としての行事は行っておりません。1年を通して、1セッション1時間というスタイルで療育活動を実施しています。 ※地域の祭事には積極的に参加しております。 | | | | | | | | | |